

防災を考える日

～ テーマ「大雨などの災害への備え」～

内容

- 1 今月のテーマ
- 2 家の外の備え
- 3 家の中の備え
- 4 避難場所の確認など
- 5 非常持ち出し品の用意

大雨などによる気象災害を防止・軽減するために、警報や気象情報などの防災気象情報を有効に活用しましょう。



気仙沼市総務部危機管理課

988-8501

宮城県気仙沼市八日町1-1-1

電話番号:

0226-22-3402

FAX 番号:

0226-22-1467

電子メール:

kikikanri@kesenuma.miyagi.jp

今月のテーマ

「防災を考える日」の今月のテーマは、「大雨などの災害への備え」です。季節の変わり目には、梅雨前線や秋雨前線が停滞してしばしば大雨を降らせます。こうした大雨は、毎年大きな被害をもたらしています。大雨や台風の危険が近づいているという情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認するなど、自分で出来る災害への備えなどについて、皆さんで話し合ってみましょう。

家の外の備え(大雨が降る前、風が強くなる前に)

- ・窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じ補強しましょう。
- ・側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。
- ・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定するか、家の中に格納しましょう。

家の中の備え

- ・非常持ち出し品の確認
 - ⇒ 非常食、携帯ラジオ、懐中電灯、貴重品、救急用品、衣類などの持ち出し品を確認しましょう。
- ・室内からの安全対策
 - ⇒ 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えて、カーテンやブラインドは閉めましょう。
- ・水の確保
 - ⇒ 断水に備え飲料水を確保しましょう。また、浴槽に水を張るなど生活用水も確保しましょう。

避難場所の確認など

- ・避難場所(学校・公民館など)への避難経路を確認しておきましょう。
- ・普段から家庭で避難場所や連絡方法などを話し合っておきましょう。
- ・避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしましょう。

非常持ち出し品の用意(人数分用意しましょう)

非常食、携帯ラジオ、乾電池、懐中電灯、携帯トイレ、笛、ブランケット、ライター・マッチ、厚手の手袋、水筒、貴重品(現金、通帳、印鑑、保険証、免許証など)、救急用品(ばんそうこう、常備薬など)、ヘルメット・防災ずきん、マスク、衣類、携帯電話の充電機、使い捨てカイロ、洗面用具など。乳児のいるご家庭はミルク・紙おむつ・ほ乳びんなど。(以上、非常持ち出し品の一例です。)

※ 避難直前に非常持ち出し品を準備するのは避け、避難を優先しましょう。また、避難後に持ち出し品を取りに戻ることも絶対やめましょう。